

官報報告

宗

丙 四七七八三

立案 大正七年八月日
決裁 大正 年 月 日

宗族寮總裁

其望

宮内事務

山

大臣

次官

故正四位下島津義弘贈位ノ件

大正七年八月廿三日
臺帳記入八月廿三日
官報報告
（六六）

宮内省

裏面白紙



故島津義弘贈位ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正七年八月二十二日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅

公

内

閣

島津義弘贈位ノ件ニ案スルニ義弘ハ
生前參議ニ任セラレタリ明治維新前
朝廷ノ制度ニ於テハ四位ニシテ參議ニ任
セラルトキハ三位以上ノ待遇ヲ受ケテ某
卿ト呼ビ又死スルトキハ某氏死スト稱ス義
弘既ニ參議ニ任シ三位以上ノ待遇ヲ受ケ

レモノナレハ^贈三佐ミテハ優遇シテ又ハモノト
謂フ可カラ人因テ^心三佐ニ贈叙セラレテ
然ル可シト認ル
八月十九日
好問議

多田村栗既有位

五位從五位正四位下

島津

義弘

内

関

裏面白紙

長慶元年身被裁

島津義弘惟新

元和元年七月二日

正倉院奉承水戸新嘉納

一陽休養公卿補任

一者皇建三十八年

天仁七年七月三日

